

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11282

新市民会館整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	市民会館費		
	大事業	市民会館事業		
	中事業	新市民会館整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	伏虎中学校跡地活用基本構想、市民文化交流センター基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	関連課			政策調整課、商工振興課、都市再生課、教育施設課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	老朽化が進む市民会館の機能を集約し、市民の芸術文化活動を発信する場として、また賑わいの文化交流拠点として新市民会館の整備を進める。		伏虎中学校跡地に和歌山城ホールとして「地域交流センター（ホール機能）」と「まちおこしセンター（コンベンション機能）」を複合した施設として整備する。			
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		新市民会館建設に向けて実施設計・建設工事を行う。	新市民会館建設に向けて建設工事・工事管理等を行う。	新市民会館の建設工事・工事監理・開館に向けた準備業務等を行う。	和歌山城ホールの建設工事・工事監理・開館に向けた準備業務等を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	106,300	137,954	2,490,191	1,233,862	5,184,738	1,550,282	2,979,897	0	0	0
伸び率(%)	23,211.4%	65.5%	2,242.6%	794.4%	108.2%	25.6%	△42.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	8,312	21,419	22,713	28,189	27,151	32,645	40,846	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	502	2,583	0	0
	小計	8,312	21,419	22,713	28,189	27,151	33,147	43,429	0	0
国庫支出金	51,900	61,492	226,800	806,368	242,300	684,132	9,373	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	48,100	67,800	2,252,000	423,300	4,940,600	864,700	2,872,300	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	58,842	0	0	0
一般財源(税等)	6,300	8,662	11,391	4,194	1,838	1,450	39,382	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.04	2.68	2.82	3.50	3.41	4.10	5.13	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	1.06	0.00	0.00
主な予算内訳	工事請負費 5,128,142千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
視察件数		件	目標値	5	2	2	2	
			実績値	6	2	4		
			達成度(%)	120%	100%	200%	%	%
建設工事着手		件	目標値	1	1	1	1	
			実績値	0	1	1		
			達成度(%)	0%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○ 制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○ 負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「にぎわいの文化交流拠点」として令和3年度の開館を目指す。
見直し・改善内容	事業費の財源の一部として国庫補助金の確保に努め、市の負担軽減を図るとともに、市民が利用しやすい施設となるよう整備する。